

豊栄病院 ニュース

令和4年10月号

豊栄病院ニュース 7月号に掲載した内容“豊栄病院在宅バックアップシステムの取り組み”が、9月16日の日本農業新聞に掲載されました。(下、新聞のコピー)

地域で在宅医療に取り組む
「豊栄病院在宅医療バックアップシステム」の取り組み

新潟県厚生連豊栄病院
病院長 宮島 透

超高齢化社会 見据える

～豊栄病院「在宅医療バックアップシステム」～
安心して在宅医療を受けられる体制の構築

①事前登録
豊栄病院へ緊急対応を希望している患者さんを事前登録

②定期的な情報交換
患者さんの情報共有(3か月に1回以上)

③体調不良時
かかりつけ医
訪問看護
退院

④紹介受診
診療で、精密検査や緊急対応が必要な場合、豊栄病院へ紹介

患者さん(在宅療養)

当院では、2022年8月より患者総合支援センター(地域医療連携室)に、“入退院支援看護師”として、3名の看護師に勤務していただいています。同看護師から、仕事内容などをお話いただきました。



入退院支援看護師の役割としては、患者さんの入院が決定した場合に、以下のような支援を行っています。◎入院案内にそって、入院手続きや入院生活の説明を行う。◎治療の流れや予定される検査などの説明を行います。◎患者・御家族様へ病歴や入院までの経過・家族構成(キーパ

ーソンなど)・日常生活の様子・介護度およびサービスの利用状況等を確認しています。◎入院に際しての不安や疑問、要望などの聞き取りを行います。◎得られた情報から、現時点で考えられる栄養状態、褥瘡のリスク等の確認をします。……上記の内容を面談で確認する中で、入院に対する不安の解消を目指しています。また、患者様一人一人にあった入院治療および生活が提供できるよう、病棟看護師に情報をつないでいます。コロナ禍の中、なかなか御家族に病院に来院いただけない状態で、入院時に今まで以上に入院支援を行うことは非常に重要であると考えています。

一方、入院患者さんに退院支援が必要と判断された場合、その患者さんの退院支援カンファレンスに参加しています。多職種参加で、患者さんの情報を共有し問題解決を図ります。特に、入院支援に介入した患者さんについては、面談時の様子や追加情報提供ができることもあります。

当院は、予定入院に比べると圧倒的に緊急入院が多く、特に高齢者の方々の緊急入院は退院困難な状況になりやすいです。御家族からの情報が得にくいケースなどは、短時間での外来でのかわりは困難で、かかりつけ医からの医療情報提供、ケアマネージャーの方やサービス事業者の方からの情報が頼りになることが多くあります。複数の患者さんの入院決定が重なった場合に、どの患者さんを優先して入院支援を行うかなどまだ試行錯誤の状態です。始まったばかりの入退院支援は現在院内の活動のみですが、看護師としての身体的状況を判断して支援でき、今後は院外の多くの職種の方と関わり、橋渡しの活動ができるようになっていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。(入退院支援看護師記、宮島一部改変)

発行責任者;豊栄病院病院長 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784